

京都ふるさとの集い

連合会ニュース

第12号

発行所

「京都ふるさとの集い連合会」事務局

京都市中京区烏丸通夷川上ル

京都新聞文化センター

企画サービス部内

郵便番号 604

電話 075(222)2323 (直)

FAX 075(222)1956



「ふるさとの森」完成

「京都ふるさと連」が植樹式

題字は荒巻楨一・京都府知事

ふるさとの木を太陽が丘の大地に根づかせようと「京都ふるさとの集い連合会」が提唱。京都府が宇治市の府立山城総合運動公園(太陽が丘)で進めていました「ふるさとの森」づくりの完成植樹式が五月十四日、荒巻京都府知事、池本宇治市長ら来賓を迎えて「京都ふるさと連」によって盛大に行われました。写真にはシタレザクラを植樹する荒巻知事(左から2人目)ら。

北海道 エゾマツ
青森 ヒバ
岩手 ナンブアカマツ
宮城 ケヤキ・センダイハギ
秋田 アキタスギ
山形 サクラ
福島 ケヤキ
茨城 ウメ
栃馬 トチノキ
群馬 クロマツ
埼玉 ケヤキ
千葉 イヌマキ
東京 イチヨウキ
神奈川 イチヨウキ
新潟 ユキツバキ
富山 タテヤマスギ
石川 アサマツ
福井 ママツ
山梨 カエデ
長野 シラカバ
岐阜 イチヨウキ
静岡 モクセイ・チャノキ
愛知 ハナノキ
三重 ジングウスギ

全国都道府県の木が勢ぞろい

滋賀 モミジ
京都 キタヤマスギ・シタレザクラ
大阪 イチヨウキ
兵庫 クスノギ
奈良 スギ
和歌山 ウバメガシ
鳥取 ダイセンキョロボク
島根 クロマツ
岡山 アカマツ・モミジ
広島 アカマツ・モミジ
山口 アカマツ・ナツミカン
徳島 ヤマモモ
香川 オリーブ
愛媛 ママツ
高知 ヤナセスギ
福岡 クルメツツジ・ウメ
佐賀 クスノキ
長崎 ヒノキ
熊本 クスノキ
大分 プンゴウメ
宮崎 フェニックス
鹿児島 クスノキ
沖縄 リュウキウマツ

昭和62年度収支計算書 (昭和63年3月31日現在)

【収入の部】		【支出の部】	
科 目	金額 (円)	科 目	金額 (円)
会 費	700,000	事 業 費	
定時総会・寄付金	906,000	定時総会・懇親会	1,229,135
親睦ボウリング大会		親睦ボウリング大会経費	216,200
参加費	110,500	鴨川納涼 経費	377,000
京都府補助金	1,000,000	四条ひろば 経費	243,000
京都市補助金	1,000,000	尼崎郷土会館まつり見学会経費	24,700
預 金 利 息	4,916	東北・北海道ブロックソフトボ	40,000
		大会へのふるさと連会長杯	
		実務者会議開催 経費	148,320
		会報 (8~11号制作費)	1,007,776
		役員会資料代	6,000
		伊東前会長への記念品	12,700
		ふるさとの森現場事務所 謝礼	6,900
		郵送・事務用品・印刷費	266,390
		会議費	12,000
		前期繰越 (61年度未払金)	16,432
合 計	3,721,416	合 計	3,606,553
		次年度繰越	114,863

昭和63年度収支予算書

【収入の部】		【支出の部】	
科 目	金額 (円)	科 目	金額 (円)
会 費	720,000	事業費	
臨時会費	1,500,000	定時総会・懇親会	1,200,000
(定時総会・ボウリン		「ふるさとの森」完成記念関係	200,000
グ大会など参加費)		鴨川納涼経費	500,000
京都府補助金	1,000,000	四条ひろば 経費	500,000
京都市補助金	1,000,000	第2回ボウリング大会経費	300,000
雑収入 (預金利息など)	50,000	会報発行経費 (4回分)	1,000,000
前年度繰越金	114,863	運営費	
		会議費	100,000
		郵便・運搬費	150,000
		印刷費	100,000
		事務用品費	50,000
		その他	
		雑費	144,863
		予備費	140,000
合 計	4,384,863	合 計	4,384,863

ふるさと連の森

「ふるさと連」提唱

太陽が丘に県人会の夢実る

「ふるさと連の森」は今夏の京都国体夏季大会のメイン会場となる太陽が丘に、全国から選手を迎えるに当たつての記念事業として「京都ふるさと連」の提唱を府が受け入れ、六千七百万円をかけて昨年十一月から城陽側入り口近くの第二駐車場付近の約二・二畝を造成、植栽工事を進め、去る五月一日にオープンしました。

「森」には京都府の木・北た。山杉をはじめ「ふるさと連」が各県人会などに呼びかけて寄贈を受けた全国都道府県の木百三十三本と府内市町村の「山林」の三つのゾーンを設け、木九十八本。そのほか修景木千九百九十本が植えられました。

阿(あずまや)や丸木橋の架村・京都新聞専務取締役(ふ)が「京都ふるさと連が国体の成功を祈念して「森」づくりを提唱されたことば、まこと意義深いものがあります。各県人会の「尽力で寄贈していただきました全国の樹木は、皆様のふるさと連の選手

励ましとなり、その活躍を見守ると思えます」とあいさつ。また池本市長も「宇治市などが主催する夏季大会のメイン会場に、立派な森が完成して喜ばしい」と述べられました。引き続き今川京都市長からの祝電披露などがあつた後、西村専務の首顔で出席者全員が乾杯、「森」の完成を祝いました。



植栽されたふるさとの木を見て回る県人会員ら

伊東初代に感謝状・記念品

「京都ふるさと連」の結成と運営に貢献された初代会長・伊東祐純氏に連合会から感謝状・記念品贈呈が行われ、五月十四日の定時総会当日、総会に先立って美馬会長からご子息の伊東祐治氏に渡されました。

らの感謝状贈呈

長谷川会長らを選出 63年度総会

「京都ふるさと連」の六十三年度定時総会は、五月十四日午後一時から宇治市の太陽が丘公園センターで「ふるさとの森完成植樹式」に先立って開催されました。

総会は「京都ふるさと連」加入県人会の代表約七十人が出席して開会。美馬陽会長のおいさつのおあと渡辺澄男・京都右手県人会長を議長に選出して進められました。

まず、六十二年度事業・決算報告が事務局と会計監査・増山義三郎氏からそれぞれ行われ、報告とおり承認されました。ついで事務局から六十三年度予算・事業案の説明があ

会長に就任して

長谷川 実

(京都福井県人会長)



今回、はからずも京都ふるさと連の集い連合会の会長を引き受けることになりました。

からは各県人会と新しく選任されました副会長はじめ役員の方々のご協力をあおぎながら精いっぱい職責を全うしたいと思いますのでよろしくお願ひします。

私が福井から京都へ出てきてから間もなく六十年になろうとしています。少しくも良くなることに役立

総会で選出された長谷川会長以外の役員は次の各氏です。

【副会長】小田義彦(広島) 石田明(熊本)

【幹事】珊瑚実(福岡) 杉山修(静岡) 野田

宗一(岐阜) 川本直水(高知) 【会計監査】

宮崎琢磨(福岡) 増山義三郎(滋賀)

選出。総会は滞りなく閉会しました。



祝賀会であいさつする荒巻知事

昭和63年度事業計画

事業・行事	日程その他
定時総会	5月14日・太陽が丘
「ふるさとの森」完成記念植樹式	5月14日・太陽が丘
鴨川納涼「ふるさと芸能」	8月 未定
県人会実務者交流会	未定
行政との懇談会	未定
「知事と語る」	未定
「市長と語る」	未定
四条ひろば88への協力	11月
第2回親善ボウリング大会	10月・しょうざんボウル
会報発行	4回(5・8・11・2月)

ふれあい 県人会 (11)

先日、京都富山県人会の総会に招かれて出席したら、北

日本新聞大阪支社長・編集部長の森弘人さん、富山県人社の専務・編集長立川清春さんが出席しておられ、同業者としていろいろな話をさせてもらった。

森さんのあいさつを聞いていると富山なまり(といつか)があつてなんとなくロ一カル色豊か。いかにも県人会らしい雰囲気だった。今回は直接、県人会の方々とのおつきあいでなく、県人会を通じて知り合いになった地方新聞の人達のことを書いてみたい。全国各地の地方紙はほとんど大阪に支社を置いている。営業(広告)活動が中心の支社もあるが、編集部があつて取材活動をしているところも少なくない。

取材の対象になるのは県の主要人物が京阪神を訪れたときの模様、地元産品の動向、それと地元出身者の関西での活躍ぶりなどである。従って県人会の活動は大切な取材対象であり、京都の県人会の総会にも大阪支社から出席され

新聞と同様、ニューメディアへの取り組みなどに積極的な会社で、参考にさせてもらうことも多い。

九州でいえば大分県の隣の熊本県人会を京都につくるについで熊本毎日新聞大阪支社長長の西山麗さんに大変努力してもらった。九州の各県に県

の。高校同窓会や関西での県人の動向についてもくわしく、何回か話をしているうちに県人会結成の準備が出来ていった。発足総会や披露パーティの次第など県人会の藤本さんたちと熱を込めて議論していた姿がいまも忘れられない。

引き継いだ仲で、地酒の泡盛を飲みながらいろいろな話をさせてもらった。

これが地元で報道されなくてはなんにもならない。京都新聞にもその記事や写真を送ってもらいたい。幸い私が大阪支社で働いていたころに、京都新聞と各地方紙が交換し合っているものを読者の方にも見てもらい、ふきこの情報に接してもらおうと一昨年十月から開設した。北は北海道新聞から南は日本新聞まで十九の新聞を置いてい

情報のパイプ果たす 県人と地方紙の人たち



本社文化センターの地方紙閲覧コーナーにある地方紙各紙

熊本と共に県人会のなかつた沖縄も昨年五月によつて京都県人会が結成され、九州地区は全県の県人会がそろつた。その沖縄県人会の総会が、東山安井の新ハママムラで催されたとき、沖縄タイムス関西支社長の喜屋武進さんとお会いした。沖縄と京都は国体

は四国新聞の方に大変お世話になった。この植樹は宇治・太陽が丘にこのほど完成した「ふるさとの森」に香川県からオリーブを贈ってもらったお礼に、安藤会長が企画した

このほか島根県人会では山

人会有るのに大泉の熊本にはない。京都にも出身者で有力な方も多くおられるのに、いろいろな方を訪ねて話をしているうちに西山さんの話が出て、同支社へ出向いてご相談した。事業畑のご出身とか聞いたが、いかにも熊本らしい情熱の人で熱心そのも

いた。沖縄と京都は国体

が大阪支社で編集部長を

の。京都新聞では一階の文化センター窓口に全国各地の地方紙閲覧コーナーを設けている。京都新聞と各地方紙が交換し合っているものを読者の方にも見てもらい、ふきこの情報に接してもらおうと一昨年十月から開設した。北は北海道新聞から南は日本新聞まで十九の新聞を置いてい



高田繁元氏が新会長に

京都富山県人会 総会で役員改選



れ、63年度役員選出などをしました。続く懇親会では郷土・多田庄村出身の新人歌手・仁志陽介(クラウンレコード)も出演、歌と話に大いにはずみみました。

京都秋田県人会の春の交歓会

4月17日、南禅寺畔の料亭・菊水で新任の秋田県大阪事務所・横山所長、田口主査を迎え、会員約五十人が参加して開催。ふんふん美酒をくみ交わしながら、久しぶりのお国ことばで歓談、郷土民話も飛び出しました。

京都宮崎県人会の昼食会と春季総会

3月27日、左京区・府立植物園で会員約二十人が参加して昼食会、散り初めの梅、早咲きの桜などを観賞しました。4月24日には三十四人が参加して下京区・ホテルニュー五条館で総会、交流を深めました。

京都富山県人会の総会が去る四月二十九日、中京区・京都東急ホテルで会員百二十五人が参加して開かれ、役員改選が行われました。その結果、塩谷謙介会長に代わって高田繁元氏(八栄不動産社長)が新会長に選ばれました。虎隊剣舞奉納が、ことしも三月二十四日午前、左京区黒谷山内の会津墓地で行われ、福島県会津若松市に伝わる「白虎隊剣舞」は、いまも地元の会津高校生らに受け継がれています。三年前から

会津墓地で白虎隊剣舞奉納

京都府会津の恒例「会津白虎隊剣舞奉納」が、ことしも三月二十四日午前、左京区黒谷山内の会津墓地で行われ、

県人会だより

近藤与吉・岐阜県人会会長死去



協同組合連合会会長などを歴任された京友禅界の重鎮で、去る四十九年から岐阜県人会会長を務めておられました。謹んで哀悼の意を表します。

後任会長に坪井氏



近藤氏の死去に伴い後任の京都岐阜県人会会長に京友株式社長・坪井琢二氏(写真)が選任されました。

京都岐阜県人会会長で古代友禅株式会長の近藤与吉氏が、去る三月二十八日、脳卒中のため京都市左京区の高折病院で死去され、同三十一日、右京区の常念寺で社葬が営まれました。八十一歳でした。近藤氏は京都詠友禅工業協同組合理事長、全日本染色

郷土の旗に集え!

京都栃木県人会にシンボル



京都栃木県人会(吉村半会)に待望の県人会の旗が出来あがり、一月の全国都道府県対抗女子駅伝に初登場、会員たちの手で沿道から郷土の選手たちに熱い連帯の激励をおくりました。

「県人会の旗を」との話は一昨年の秋の会結成の時から持ちあがり、会員のひとりで、室町の千総の図案家・横塚紀夫さんに制作を依頼、昨年末、旗とノボリが完成しました。濃紺の地に白く「県のマーク」を浮きぼりにした立派なもの。写真で、マークは、中央の曲線が栃木の大地を流れる母なる「川」を、左上の「木」の「杉」を表し、右下の丸形は県の島「チチリ」を象徴化したものと思われま

県人会での「会」のシンボルもできた。旗の下、多くの県人が集まっています。今後、各種の催しなどに活用することになっています。

京都岩手県人会 春の花見懇親会

4月3日、会員六十人がJR山科駅に集合、疎水べりを散策しました。花の見えるには花が遅れていた桜もようど少し早目でしたが、好天に恵まれ、大いに盛りあがりました。



4月17日、円山公園で会員約七十人が参加して催されました。



4月16日、下京区・東華菜館に会員約八十人が参加して開催、今秋の京都国体への全面協力を確認。懇親会ではふんふん酒を交わしながら、花を咲かせました。

愛媛「連合会」入り

兵庫と全京都石川も



京都愛媛県人会 総会を開いて発足、併せて「ふるさと連」へ入会することになりました。会長には約三百人。去る三十八年発足以来、毎年秋に伏見桃山城などで開く総会には二百人前後が参加、交流を深めています。

また、結成準備を進めていた兵庫県人会は、先の発起人会で六月下旬に設立入会会となりました。これに「ふるさと連」加入は三十七人になりました。

このほか全京都石川県人会(古地栄太郎会長)も入会することになりました。

京都静岡県人会の

お花見と大覚寺拝観

4月10日、広沢の池畔の「山名」に会員約五十人が集合、特別参加の神戸静岡県人会の役員らと共に花を観賞しました。

京都福岡県人会総会



4月16日、下京区・東華菜館に会員約八十人が参加して開催、今秋の京都国体への全面協力を確認。懇親会ではふんふん酒を交わしながら、花を咲かせました。

ふるさと
紀行
(8)

和歌山県

京都新聞文化部 不破 哲

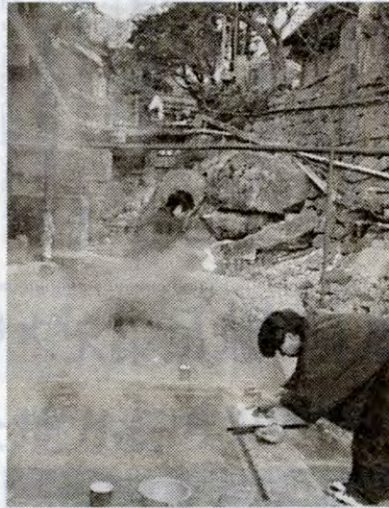
の輪が広がる。

有吉佐和子の小説「日高川」の冒頭にモデルとして登場している上御殿のおかみ・竜神綾さんの上品な容貌をみれば平家の落人伝説もかくやと思えてくる。

今年の二月初旬には南紀勝

後白河上皇をはじめとする王侯貴族から平民までが、京の都からほろける通いつめたのだ。旅路の終わりを前に、この温泉で湯垢離（ゆごり）をして身を清めたという大宮人たち。長旅の疲れと本宮参拝を翌日にひかえた興奮でどんな一夜を過ごしたのだろう。

この旅館・あづまやには「弁慶さん」と呼ばれる番頭さんがいる。ひげの濃い大男で、かの弁慶もかくや、と思わせる風貌。こんな人が山奥の秘湯にいるのだから、旅はこたえられない。時にはお客を案内して、今に残る熊野古道を散策したりするといふ。



山里の湯の峰温泉。「湯筒」では透明なお湯がわき出る。この湯で身を清め本宮にお参りしたという。

歴史・秘湯・うまい味

まさしくメジャー県

る。

浦から湯の峰温泉に入った。熊野三山の一つ・本宮大社に

とつたわれる温泉につかり、肌につるつるする湯の感触を

楽しみなが、思えば江戸の昔に、「一体、紀州の殿様は、

どうやってこんな山奥まで来たんだらう。何日かけて来たにしても、途中にはさしたる集落もないし……」等々、

考えだしたらいくらでも想像史の彼方に飛ぶ。

様々な大生模様が行き交ったことだろう……と思えば再び歴史の彼方に飛ぶ。

等々、和歌山県はうまいもんにかけてはメジャー中のメジャー県なのである。

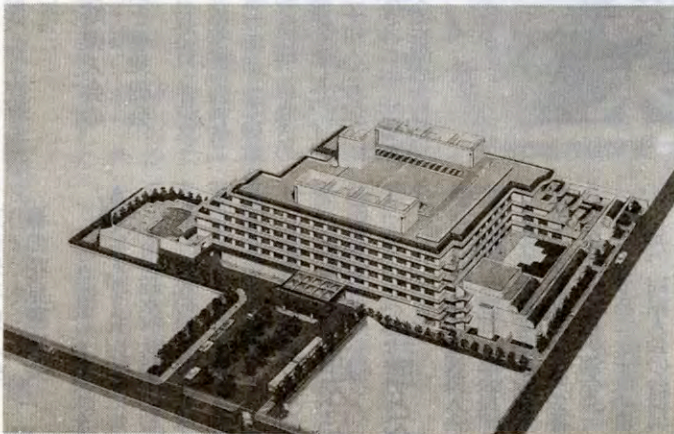
ちよつと古いはなしになるが、カーラジオから面白い歌がながれていた。「近畿のおまけ、和歌山」というのである。地元の音楽グループで、たしか「発逆転」とかいう名前だった。

「デイスコもあるし温泉もある。何でもあつた和歌山は、でもメジャーじゃない、メジャーじゃない、近畿のおまけ、わかやま」といった内容。若者らしいユーモアにおもわず吹き出してしまった。

言われてみれば和歌山には確かにメジャーになりきれぬ感じがある。田舎というわけでもなく、さりとて都会という感じにも程遠い。しかし、旅人にとっては汲めどもつきも魅力があるところ、それが和歌山ではなからうか。

昨夏のおわりに御坊市からバスにゆられて日高川を遡った。蛇行する道に腹の調子がおかしくなったところ、やつといた竜神温泉。紀州徳川家のお殿様が愛用した上御殿、お

京都御所中立売御門西に7月11日開業



心地よい時間に逢える
自由自在の空間
全室スイートルーム

宿泊・婚礼・宴会ご予約承り中



京都ブライトンホテル
all suites

〒602 京都市上京区新町通中立売(府庁北)

Phone 075-441-4411 (代)

宿泊予約:075-441-0489 宴会予約:075-451-0489

〈施設概要〉

客室183室(全室スイートルーム)、テラスレストラン「フェリエ」、仏蘭西料理「ヴィザヴィ」、京懐石「螢」、鉄板焼「燗(ひもろぎ)」、中国料理「花間(かかん)」、バー・ムーンシャイナー、ラウンジ・クオ・ミディ、大中小宴会場、ファンクションルーム、結婚式場、写真室、衣裳室、美容室、フラワーショップ、屋外プール、駐車場(103台)

各地方紙に掲載された話題から集めました。ふるさとのニュース・話題は京都新聞文化センター「地方紙閲覧コーナー」に常備の各紙を「覧下さい」。

とさとふる点景

電柱消えて結構な日光

東照宮、二荒山神社、輪王寺が立ち並ぶ栃木県日光市の山内地区で東京電力が進めていた配電線地中化工事が終わりました。昨年からの一、二期工事で撤去された電柱は合わせて二十八本。この工事で一・三キが無電柱化されたため、これまで電柱で景観が損われていた地区内もすっきりとしました。(下野新聞)

神戸税関が写真集

兵庫運上所として幕末に開設されて以来百二十年間、港神戸の表玄関・神戸税関が記

録写真集「120年の歩み」

を出版しました。神戸港開港とともに始まった歴史を、神戸市立博物館が所蔵する錦絵やOB職員が撮影した写真など約二百五十点でまとめたもので、明治初期の船入り場やブラジル移民船出港風景などが含まれ、貴重な資料となっています。(神戸新聞)

信州ニンジン

で健康食品

長野県小県郡武石村と村農協が特産の信州ニンジン(薬用ニンジン)を使って研究していた「人参(にんじん)玄米くる酢」の試作品が完成しました。健康食品として人気

まんが町史お目見え

静岡県函南町は先ごろ、町民の話題を集めました。絵と文は新進漫画家の永井陽子さん(東京)に依頼。ス

切っています。(山陽新聞)

牛深で赤ウニ

種苗初出荷

熊本県牛深市の財団法人県栽培漁業協会から今春、赤ウニの種苗が初めて出荷されま

皮切りに、おにぎりパン、ササニキアイスを考案しています。(河北新報)

高知に温泉付きの福祉施設

「温泉付き」のデイサービス施設が、高知県高岡郡葉山村にオープンしました。新荘川谷筋にわく冷泉を引いて沸かしており、隣接する特別養護老人ホームにも温泉浴室が完備、同村の高齢者福祉施設は他町村がうらやむような温かみ、が売り物となつて

芭蕉・木因の像完成

「奥の細道むすびの地」として知られる大垣市船町の水門川西岸に「芭蕉翁と木因翁

像は新名所となりそうです。(岐阜新聞)

マングローブ林へ遊歩道

鹿児島県大島郡住用村のマングローブ林(国の特別保護地区)へは、これまで満潮時に船で入るしか訪れる方法がありませんでしたが、遊歩道(延長二百八十メートル)の完成で直接行けるようになりまし



山形県人会員らが参加して行われた「鴨川ウオーク」

京都歩け歩け協が発足

本間・山形県人会長の発起で

京都山形県人会長の本間昭之助氏(中外日報社長の発起で設立準備が進められていた社団法人日本歩け歩け協会(JWA、金子智一会長)の京都支部、京都歩け歩け協会、組織、インタナショナル・マ

咲かせよう府民運動の花

京都国体の開催を機に、府民みんなの手で、明るく住みよい明日の京都づくりを目指し、取り組まれてきた府民運動も今年、四年目を迎えます。運動推進協議会が結成され、

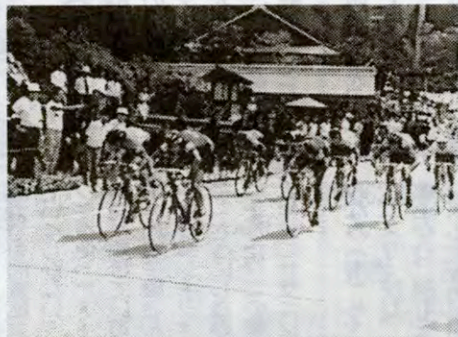
高校生1900人の演技練習「翔よう未来へ」(4月10日)



京都国体へ秒読み開始

昭和63年、国体を再び京都で、と誘致を発意してから十年。いよいよ、今秋には、府民あげてのスポーツの祭典「京都国体」が開催されます。夏季大会は9月4日(日)から四日間、秋季大会は10月15日(土)から六日間開催されますが、期間中はもとより、この夏から秋にかけては府内各地でスポーツがつくりだす感動と友情のドラマが展開されることでしょう。

リハーサル大会で自信



第22回全国都道府県対抗自転車大会から(美山町、昨年8月25日)

62年5月、宮津市はじめ四市町で開催された第九回西日本野球大会を皮切りに、京都国体リハーサル大会と銘打って、三十八市町で四十競技(うちデモンストレーション四行事)実施され、あと6月25、26日に久御山、宇治田原両町の馬術競技を残すのみとなりました。

その構成団体である「京都府民の構成団体」を、この集い連合会」を、めとする約四百五十団体が先頭に立って運動を展開しています。府民運動推進協では当面、京都国体の成功を大きな目標としており、これに向けて年次計画を立て、運動を進めてきました。61年テーマ「つるおあいある」を大事にしながら、さらに、「あたたかい心」で国体選手・役員をはじめ多くの来訪者を迎えよう、このほど開催の同協議会総会で確認されたところでした。

GAMES FOR DISABLED • THE 24TH NATIONAL SPORTS GAMES

愛とふれあいの京都大会



会期：昭和63年10月29日(土)30日(日)
会場：京都市西京極総合運動公園ほか



第24回 全国身体障害者スポーツ大会

• THE 24TH NATIONAL SPORTS GAMES FOR DISABLED

新しい歴史に向かって走ろう

京都国体

夏季大会 9月4日～7日
秋季大会 10月15日～20日

THE 24TH NATIONAL SPORTS

FOR DISABLED • THE 24TH